

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発育サポートハートリハ龍郷		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 13日		～ 令和8年 2月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 13日		～ 令和8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供と保護者のニーズや課題に対して、特性に応じた専門性のある支援を提供	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職を含めて課題分析を実施 ・個々の特性に応じた具体的な支援を設定 ・日々の状況に合わせた支援方法を実施 	専門職（理学療法士・作業療法士）を含めて課題や成長の評価を行い、スタッフ間のみならず保護者や関係機関と連携し、利用児の成長を促す
2	支援方針を統一していることで、均一化した支援を提供	<ul style="list-style-type: none"> ・支援方針を用いた面談の実施 ・小まめに申し送りや振り返りを実施 	対象児の各職員の支援方法を振り返りの時間で打ち出し、より対象児に適した支援方法を全体でディスカッションしていく
3	新規利用や見学などの相談を円滑に対応	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用の相談があった際には、スムーズに見学・利用体験に繋がるよう窓口設置 ・関係機関や相談支援専門員の当日見学、訪問の依頼を受け入れ、柔軟に対応 	現在の取り組みを維持し、当日の見学や体験の依頼にも対応できるように心掛ける

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応について説明不足	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時マニュアル等の説明不足 ・全体での訓練の後に保護者への周知が不十分 ・利用児を含めての避難訓練が非実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常時対応についてのマニュアル説明をSNSにて定期的に行う ・訓練を行った後に内容を保護者へ周知 ・利用児を福得での避難訓練開催の検討
2	全体での保護者会の開催が未実施	祝日や長期休みの際に保護者の見学を受け入れ、相談に乗ったり、支援方法の助言を行っているが、全体での受け入れとなるとプレールームの広さや曜日の選定といった問題が生じてしまい、開催が困難な状況	今まで通り、祝日や長期休暇を利用して保護者の見学を実施していく上に、保護者の休みに合わせて利用する方法を周知し、対応方法の助言等を実施する
3	地域の他の子どもと活動する機会が少ない	祝日に兄弟児の体験を受け入れ、交流できているが、時間の調整が難しく、他機関と連携を図っての交流が実施できていない	他機関（学校や幼稚園、保育所、学童クラブ等）と連携を図り、交流できるイベント等を開催できるように検討していく